



ENJOY ROTARY!



ロータリーを楽しもう!

会長 高橋良士 幹事 佐々木喆彦 クラブ奉仕 佐藤 衛 職業奉仕 忠鉢 徹 社会奉仕 斎藤 昭 国際奉仕 塚原初男 青少年奉仕 加藤 賢

出席報告:会員 90名 出席 65名 出席率 74.36% 前回出席率 71.43% 修正出席数 72名 確定出席率 84.42%

会長報告

高橋良士君

1. 第6回クラブ協議会

6月12日午後4時より、本年度及び次年度委員長、合同で開催いたしました。

また本年度、各委員長には活動報告を次年度各委員長には活動計画をそれぞれ御報告いただきましたが、詳細につきましては新年度クラブ活動計画・報告書をお読みいただくことに致しまして割愛させていただきます。

2. 庄内分区会長幹事会

6月17日午後4時より湯の浜温泉「竹屋ホテル」で開催されました。

本年度、庄内分区の年間行事報告及び会計報告がございましたが、主な行事を要約いたしますと、

① 新会員セミナー

第1回セミナー 9月8日 酒田市

第2回セミナー 1月21日 鶴岡市

② 庄内地区IGF

11月25日 酒田市

③ ガバナー公式訪問

村上ガバナー御病氣療養中のため庄内分区の公式訪問は大巾に遅れ、本年2月に入り、九里アクティングガバナー、志藤P.G.により行われました。

④ 創立記念式典及び認証状伝達式

1. 酒田RC30周年

2. 遊佐RC20周年

3. 余目RC20周年

4. 温海RC20周年

5. 酒田スワンRC認証状伝達式

⑤ 村上ガバナー葬儀

本年4月11日、任期半ばにして逝去され、4月25日告別式がしめやかに挙行されました。

ENJOY LIFE

「三つの義務」

上野三郎

欧米から「日本人の働きすぎ」が言われて久しい。それでも、私には未だに「働きすぎ」が悪であるとの言いざまには、納得できない部分がある。最近、酒田出身の佐高信氏の講演を聞いたが、その中で、欧米の考え方を理解する一助になりそうな一説があった。佐高氏は、ある欧州人の話した言葉を紹介していた。要約するところである。

欧州では、市民は「職業人としての義務」

「家庭人としての義務」「地域社会に奉仕する義務」の三つの義務を応文に果たしながら生活している。一般に日本人は、妻子のいる家庭をかえりみず、地域社会に対する義務も放棄し、仕事だけに生活を捧げていた人が多い。われわれ欧州人が、家庭人としての義務を果たしている間も、日本人はひたすら働いている。この両者が競争したら、その勝敗は明らかである。市民としての義務を果たしていない人々が、それを果たしている人々と競争すること自体アンフェアであり、アンフェアな競争の結果としての勝敗もアンフェアである。

エンジョイライフ

以上が庄内分区の主な年間行事であります。

尚、次期庄内分区代理は鶴岡西RC三浦正志氏
であります。

3. 臨時理事会

本日、午前11時30分より開催致しました。

- ① 玉城荘内銀行会長より退会届が提出されま
したが、受理承認致しました。
- ② 斎藤寿一、斎藤胃腸病院院長より休会届が提
出されておりましたが、受理承認致しました。
- ③ 本年度クラブ会計収支決算

本年度は予期しなかった分区内創立記念式典が
相次いだための参加補助費、旅費の大幅な支出増
がありまして、この分を創立記念式典参加費とし
て、別枠で支出する事を御承認いただきました。

以上

幹事報告

佐々木 詰彦 君

◎ 来信・通知

- ① 6/13 退会届け 風間 真一 君
- ② 6/14 認証状伝達式参加に対するお礼状付
酒田スワンRC
- ③ 6/15 例会状変更のお知らせ
鶴岡西RC
- ④ 6/18 山形RC 創立40周年記念式典案内

山形グランドホテル 8/5 (日)
点鐘 12:00 登録料 ¥12,000

・会報到着 なし

◎ 例会変更

- 鶴岡西RC 6/29 (金) 最終例会のため
竹屋ホテル
点 鐘 18:30
登録料 ¥4,000
- 温 海RC 6/18 (月) 商工会館2F
点 鐘 12:15
6/25 (月) 会長・幹事慰労のため
温海ホテル
点 鐘 18:00
登録料 ¥4,000
- 八 幡RC 7/4 (水) 初顔合わせ例会のため
八 森 荘
点 鐘 18:30
- 酒 田RC 6/27 (水) 最終例会のため
湯 殿 庵
点 鐘 18:30
登録料 ¥15,000
- 酒田中央RC 6/22 (金) 年度末懇親会のため
ホテルリッチ酒田
点 鐘 19:00
登録料 ¥4,000

新会員スピーチ

企 業 の 広 報 活 動

宇 野 謙 治 君



諸先輩を前にしてお話
をすることは何もありま
せんが、自動車屋ですの
で自動車の話しとなりが
ちですが、これを止めま
してその代わり10万キロ
のスピード世界記録を持っ
ていますレガシィのカタログを含めてお手元にお

届けさせていただきます。

私はスバルのメーカーであります、富士重工業
で少し広報の仕事を行った経験がありますので、
これについてお話をさせて頂きたいと思ひます。ご
存知の話して申し訳ありません。

本日のご列席の皆さんのなかにマスコミの仕事
をされておられる方がお出でのことと思ひますが、
失礼な言い方がございましたら、ご勘弁いただき

ていますレガシィのカタログを含めてお手元にお

たいと思います。

この仕事を始める当初、広報は宣伝ではないかと思っておりました。

しかし内容的には大きな違いがあり、車で言うところの両輪であることは間違いないと思います。その違いの主な内容としては「広告」は新聞、雑誌のスペースやテレビ、ラジオの時間を買って企業、個人の言いたいことを自由に表現するものです。

これに対して「広報」はマスコミに情報だけを提供し、マスコミの判断により記事やニュースとして報道してもらう活動です。

広告はスペースや時間を買うので間違いなく記載あるいは放映されますが、この記事やニュースはマスコミの責任において報道されるものですから真実としてそのまま素直に受け取ってもらえる可能性が高いわけです。

この広報の活動をパブリシティ活動と呼んでおり、記事としては無料です。

このパブリシティ活動は企業にとって非常に大切な事であり、企業イメージあるいは商品イメージアップには欠かせないものです。

記者やニュースは機械では作られるものではなく人が手で書いて作っています。従って第一線の記事との人間関係が非常に大切となってきます。更にコミュニケーションが重要であり、常に雑談は別として仕事に関してはたえず言葉づかいには細心の注意を払っていました。

この人間関係を有効に保つには、嘘をつかず真実を話すことによりお互いの信頼関係を築くことが最大のポイントではないかと思っています。

永年企業が存続していると良いことばかりではなく悪いこと、又は嫌なことがあると思います。

例えば事故や事件がないとも言えません。この場合記者が取材に見えても、いやなことは逃げたがるものですが、これは絶対やるべきではなく逃

げていると憶測で報道され、あとで間違っていると言っても取り返しがききません。この場合真実を言って企業に有効な方向に誘導するのが良いと思います。

このパブリシティ活動には大きく分けて2つの方式があります。

1つは各マスコミに平等に情報提供をすることです。これは資料を作って配布したり、自動車ですと新型が出た場合、記者発表を行いますけれどもその1例となります。

また記者会見もそうですがタレントが結婚又は離婚スキャンダルなどをテレビで見たり、その他で見ますがこれもその1例となります。

更に1社だけに情報を提供することがあります。これらは能動的なものであり企業から打って出るもので、悪い言葉で言いますとマスコミを利用することです。

2つ目はマスコミの取材を受けることです。これを受動的ともいっておりますが、積極的に協力すべきことであり、マスコミ対策として最も基礎的な活動です。

マスコミ各社は我々には新聞その他を見る限りでは良く分かりませんが、自動車の販売と同じく熾烈なスクープ合戦が行われています。

これがエスカレートしますと先日の珊瑚に傷を付けたことにも一部発展しているのではないかと思います。

私は庄内にまいりまして約1年となりますが、その間のパブリシティ活動として

① 昨年10月に鶴岡市、同じく11月に酒田市とそれぞれに花国体の選手強化のために使用する車としてレガシィを各1台貸与させて頂きました。この地元がよい成績を揚げるために協力いたし、その貸与式の記事が写真入りで報道され、私としては良かったと感謝を致しております。

② 本年の3月、羽黒町のあさひが丘に精神薄弱者の施設「いなほの会」が出来ましたが、そのオープンの時、生徒の送迎用の車を1台寄贈致しましたが、報道されずこれは失敗と思い反省しております。

以上まとまりのない話を致し申し訳ございませんでした。最後に当社は庄内の一企業として、このロータリークラブをたてとして頑張ってもらいたいと存じますので今後ともよろしく願い致します。

新会員スピーチ

北朝鮮からの引揚げ

大川 孝君



最近の東欧の政治情勢には大きな変革があり、ソ連の傘の下の共産党一党独裁という構図が崩壊して、自由主義体制への移行が急速に進んでおります。この様な情勢変化

の中で、不気味に動きがなく孤立感を深めて現体制のまま推移しようとしている朝鮮民主主義人民共和国、北朝鮮の動向が、私の大きな関心事であります。

といいますのも、北朝鮮が私の生まれ故郷であり5年間という短い期間ではありましたが、そこで生活し、そして終戦後の引揚げ体験をしたためであります。

今回、引揚げの模様についてスピーチさせていただくつもりですが、紀元2600年生れの当時小学一年生でありましたので、詳しいことまでは分かりません。しかし、引揚げ時62才であった祖母の日記と父のメモが残されており、私の記憶と重ね合わせてお話させていただきます。

昭和21年11月1日、出発してから75日間の行程の旅、祖母、両親そして4才の妹の5人家族で鶴岡へ到着致しました。

昭和19年に死亡した祖父が警察官をしており、

大正時代の中頃に渡韓、家族としましては約25年間の在韓生活ということになります。私は満州と鴨緑江をはさんだ国境の町、新義州で生まれ、終戦時には水豊ダムの近くの青水に住んでおりました。

終戦を海外で迎えた日本人は640万人、朝鮮半島からは約90万人が引揚げてきたと言われております。南朝鮮から約60万人が27年5月頃まで引揚げを完了しましたが、北朝鮮ではソ連軍が38度線を閉鎖して南下を妨げたため、33万人の引揚げは南朝鮮の人々に比べると悲惨な逃避行となりました。

終戦後1年間、収容所に入れられ帰国は許されませんでした。一番下の妹は20年10月に生まれましたが、収容所での生活の中、栄養失調で翌年5月に死亡しました。当時の状況では止むを得なかった7ヶ月の命でした。

収容所での生活は、立前はともかくそれまで支配、非支配という暗黙の関係が、突然逆転した状態になったことで、祖母の日記にもその激変に対する戸惑いと、先行きの不安さが綴られています。

一つだけロシア語を知っています。正確かどうかは分かりませんが「ヤボンスキー・マダム・イッソ」という一つのフレーズです。進駐してきたソ連軍兵士が、遊んでいた私達子供に投げかけた言

葉であり、当時の事情が推察できる悲しい記憶の一つであります。

終戦から丁度1年たった21年8月16日の朝5時すぎ、一団体40名がトラックに分乗して収容所を出発しました。トラックの賃賃料が1台6千円という記録がありますが、当時としては破格の値段でありました。38度線までの間、トラックを利用したのは初日だけで、途中一度3時間ほど汽車に乗せてもらいましたが、牛車を借りたりしながら徒歩で南に向かって進みました。途中で多くの私設関所、検問所があり、金銭や持ち物を日本人から取り上げてしまおうと計画された脱出コースでもあったと言われております。

引揚げに際し1人千円の現金持参が許され、残りは保安隊（北鮮の警察？）に抛出しなければならなかったとのことですが、袋状の皮バンドの中に紙幣を折りたたんで入れたり、位牌の下の部分をくり抜いて指輪をはめこんで入れたりしてささやかな抵抗もしました。また、祖父の遺骨は父が皮手袋をして揉んで細かくし、容積を小さくして日本に持ち帰りました。

引揚げ行程の中で誰もが最難関だと心配していた38度線には、朝鮮半島の北の端から34日掛かってたどりつき9月19日に通過しました。当日の祖母の日記には、こう書いてあります。「途中、盗人、金取り四回も、四里の道程を歩き開城のテント村へ着く。テント120帳り、6千人」

38度線を越えたすぐの都市が開城であり、ここからは米軍の管轄下として、いままでの恐怖に満ちた逃避行とは気分的に大変違ったものになりました。伝染病検査のため10日間テント村で過ごし、その後トラックで京城を経て黄海に面した仁川という港に到着、引揚げ船米山丸の船倉に2,700人が乗るという状況の中、朝鮮半島を後にしました。

4日後佐世保沖についたものの、コレラが発生したとのことで、日本本土の山腹を望みながら

20日間もの船中生活となりました。その間にも日本を目の前にし、日本の土を踏むことなく死んでいった人も多く、船倉から甲板に通じる狭い階段をコモに包まれた遺体が運ばれ、ハシケに積んでいく光景を忘れることができません。

長い船での生活を終え10月27日佐世保の海兵団跡に上陸、引揚げ列車で広島を経て東京品川、乗り換えて11月1日、午前10時すぎ親類の出迎えをうけ、75日間に亘った引揚げの終着駅、鶴岡にたどりつきました。

私と同じ年代の中国残留孤児の肉親探しが行われておりますが、北朝鮮にも同じような立場の人がいると思われまじ、一つ間違うと私も同じ運命をたどっていたかも知れません。収容所で生まれて間もない妹の死はありましたが一家五人が途中はぐれもせず、病気にもならず帰国できたことは幸運でした。

戦後45年、ほぼ半世紀が経過しようとしています。明治43年（1910）の日韓併合条約から終戦までの35年間は、日本が直接朝鮮半島を統合した期間であります。実質的に保護国、植民地的なものになったのは、今から100年前の日清戦争の頃からだといわれております。

先頃韓国の大統領の訪日に際し、天皇の「おことば」をめぐる議論がありましたが、半世紀に亘る日本と朝鮮半島のかかわり合い、抑圧された50年間の影が今も尾を引いていることとなります。

引揚者という言葉の字も、そのうち歴史の教科書に残るだけかも知れません。そして食糧がなく栄養失調で餓死をしたという歴史が、かつての日本にあったことが不思議な時代になってきております。

韓国と北朝鮮の関係修復とか、現在進んでいる東西ドイツのような問題解決には、極めて難しい状況にあると思いますが、自由に往来できる日が一日も早くきて、生まれた町、育ったところへー

度行ってみたいと思っております。

以上で私の新入会員スピーチとさせていただきます。貴重な時間をいただき有難うございました。

新会員紹介

藤川 享胤 君

氏 名 三 浦 孝 君
生年月日 昭和 25 年 7 月 26 日
自 宅 鶴岡市鳥居町 5 - 12
職 業 日本生命保険相互会社
鶴岡営業支部長
家 族 妻 真理子 様 S26.2.27生
長男 秀 忠 様 S54.6.6
趣 味 ゴルフ 絵画

新会員スピーチ

三 浦 孝 君

ただいまご紹介に預かりました日本生命の三浦でございます。

この4月に村山より転任しました。前任の富田の後任です。鶴岡支部を担当しています。こちら

のロータリークラブに加入させて頂きましたので名を汚さないよう頑張っていきたいと思っておりますのでどうかよろしくお願い致します。

◎6分間スピーチ

温海ロータリークラブ 本間 儀佐エ門 君
温海ロータリークラブを代表してこの度の20周年の記念式典にあたり鶴岡クラブをはじめ多数のクラブの方々にお世話いただきありがたく厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

私はこの6月の末日に退会させていただきます。私にとって20年のロータリーにおきまして本間義一さんと石黒慶之助さんのお二人にとくにお世

になりました。

この20年間に教えられました奉仕の精神を今後とも大切にしていける所存でございますのでどうかよろしくお願い致します。

鶴岡ロータリークラブのますますのご発展と会員各位のますますのご健勝を祈念いたしましてご挨拶させていただきます。

スマイル

佐々木 喆彦 君 昼間にこのマイクを使うのが最後となりますのでその意味でスマイルさせていただきます。

石黒 慶一 君 鶴岡西ロータリークラブの石黒です。温海ロータリークラブの記念式典では鶴岡クラブさんとか温海クラブの方々にお世話になりましたのでここでスマイルさせていただきます。

本間儀佐エ門君 今年度、温海ロータリークラブに13名の新入会員を迎えることが出来ましたことと、先程のスピーチの場を頂きましたお礼と致しまして。

ビジター

小 池 泰 弘 君 (鶴岡西RC)

石 黒 慶 一 君 (")

本 間 儀 佐 エ 門 君 (温 海RC)

藤 谷 隆 君 (")

大 滝 博 介 君 (余 目RC)

26日(火)のプログラム予定

最 終 例 会